

気象急変時（竜巻・雷発生時）対応マニュアル

1 気象情報（竜巻注意情報、雷注意情報）の把握と周知

- (1) 大気が不安定な状況等の気象情報が前日から出されている場合は、普段以上にテレビやインターネット等により気象情報を把握する。
- (2) 竜巻注意情報等が発表された場合には、校内放送等で教職員及び児童に注意を促す。

2 気象の急変時の対応

(1) 竜巻が発生した際の対応

ア 学校にいるとき

(ア) 教室にいる場合

- 窓を閉め（鍵をかける）、カーテンを引く。
- 出入り口のドアを閉める。
- 窓ガラスからできるだけ離れる。
- 身の回りにある物で頭と首を守る工夫をする。
 - ・ 帽子をかぶる
 - ・ 身の回りにある机などを盾にするなど、身を守る工夫をする。

(イ) 教室以外の校舎内にいる場合

- 風の通り道やガラスが飛んでくるのを避けられる場所に身を寄せる。
- 壁に近いところで避難姿勢をとる。

(ウ) 体育の授業などで屋外にいる場合

- 校舎など頑丈な建物に避難する。
- 物置やプレハブ（仮設建築物）などには避難しない。

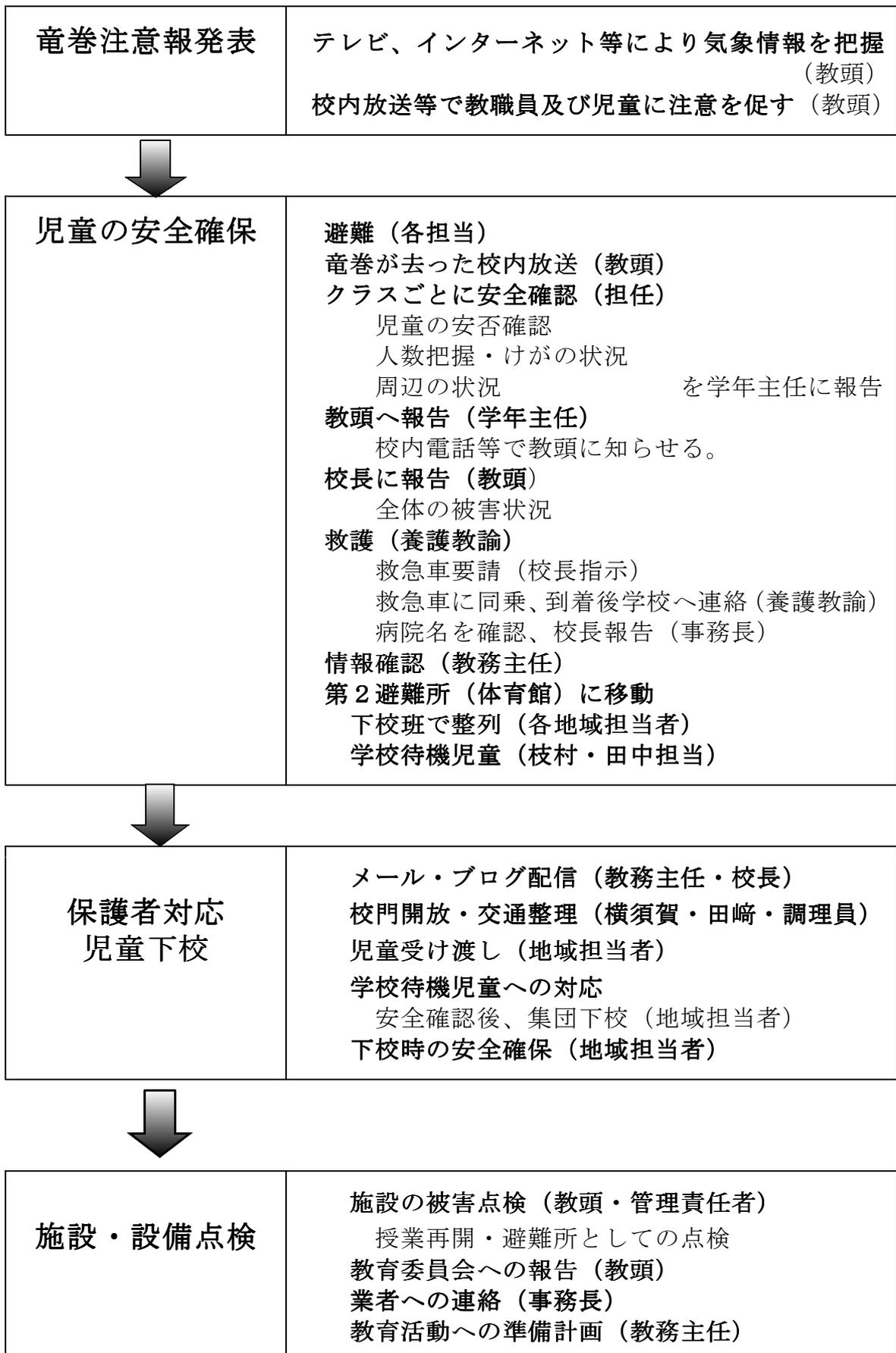
イ 登下校中のとき（気象の急変が予想される場合は、登下校を控えることが原則だが、万が一登下校時に遭遇した場合）

- 屋根瓦など、飛ばされてくるものに注意する。
- 近くの頑丈な建物に避難する。建物に避難できない場合は、くぼみなどに身をふせる。
- 電柱や太い樹木も倒壊する危険があるので、近寄らない。

(2) 雷が発生した際の対応

- 雷鳴が遠くても雷雲はすぐ近づいてくるので、体育等で屋外活動をしている場合は、速やかに屋内に避難する。
- やむを得ず屋外にいる場合は、樹木に近づかない。
- 近くに避難する場所がない場合は、低い場所を探してしゃがみこむなど、できるだけ姿勢を低くする。
- 下校時は、雷が遠のくまで学校待機とし、安全が確認できてから学年下校をさせる。

1 竜巻発生時の対応





<p>全職員での対応</p>	<p>職員室集合、校長の指示を受ける</p> <ul style="list-style-type: none">・児童、教職員の安全確認・授業再開への準備・関係機関への連絡確認・保護者へのメール配信・問い合わせの対応・避難所運営への支援体制・帰宅困難児童の対応
----------------	---

<p><各自の覚書></p>
